

「お餅。へタン 笑顔で交流」

地域福祉センター向永谷で開催された地域交流事業について取り上げられています。



餅をつく施設の利用者や
地域の子どもたち

お餅。へタン
笑顔で交流

福山の介護事業所

年の瀬を前に、福山市駅家町の介護事業所「地域福祉センター向

永谷」で27日、餅つき大会があった。地域の家族連れも集い、施設の利用者と交流した。

近くの住民が炊いたもち米約30kgを、お年寄りや子どもたちが掛け声に合わせてきねでつ

いた。子ども2人と訪れた近くの主婦鈴木恵未さん(88)は「臼を使った餅つきはなかなかできない体験」。参加者は、ぜんざいでつきたての餅を味わっていた。

地域ぐるみの介護を掲げる同センターが、7年前から続ける行事。施設を利用する堀江ワカさん(86)は「たくさんの人と会える楽しい年越しができてうれしい」と喜んでいった。